



学校部活動 から 地域クラブ活動 へと 仕組みが変わっていきます



まずは休日から

なぜ、地域に移行するの？

中学校の部活動は、スポーツや文化活動を通して、よりよい人間関係を学んだり、自己肯定感を高めたりする機会として大きな役割を果たしてきました。しかし、少子化により、学校単独での団体種目のチーム編成ができなかったり、部活動の種類が少なくやりたい活動ができなかったりする状況が生まれています。

このような状況を受け、国から学校部活動を地域と連携して活動したり、地域クラブ活動に移行したりするなど、生徒の望ましい成長を保障できるような地域での持続可能な体制づくりの方針が示されました。

国

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」
(令和4年12月 スポーツ庁/文化庁)



スポーツ庁HP

栃木県

とちぎ部活動移行プラン ～公立中学校の部活動を地域クラブ活動へ～
(令和5年3月 栃木県教育委員会)



栃木県HP

— 栃木県の活動目標 —

令和7年度までに、全ての公立中学校の休日の部活動を
1つ以上、地域クラブ活動に移行することを目指す

国・県の方針を受けて

真岡市では・・・

真岡市

令和6年8月に「部活動の在り方検討協議会」を設置し、校長会やスポーツ・文化芸術関連団体、PTA、教職員等、関係機関の代表と市職員で部活動の在り方について検討を進めています。

真岡市では、国や県の方針を踏まえ、栃木県の目標に準じて、令和7年度までに「休日の部活動を各中学校が1つ以上、地域クラブ活動に移行すること」を目標にしています。



— 令和7年度に実施する主な予定 —

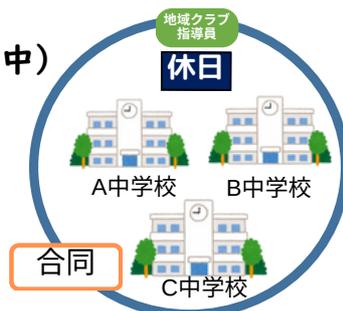
■部活動指導員[※]の拡充

部活動指導員など、専門性のある地域の指導者を積極的に配置し、専門的な指導の充実と教職員の負担軽減を図ります。

※部活動指導員……部活動の技術指導や大会への引率等に従事する教職員以外の指導者

■国からの補助を受けた真岡市のモデル事業（令和7年9月開始予定で調整中）

- 休日の「合同部活動」の実施（種目ごとに複数の中学校が合同で活動）
- 休日の学校単位での「地域クラブ活動」の実施
 - ・平日は、これまで通り学校での部活動を実施します。
 - ・詳細（対象校、種目）については決定次第お知らせします。



合同での活動のイメージ

今後も、皆様の御意見を参考に、生徒が将来にわたりスポーツ・文化活動に親しむ機会を確保できるよう検討を進めてまいります。

学校部活動 Q&A

Q1 令和7年度から学校部活動はなくなってしまうのですか？

令和7年度になくなるということではありません。当面、今までのように、各校の実態に応じて、学校の教職員や部活動指導員が連携しながら学校部活動を実施します。令和7年度については、一部の種目で、休日に複数の学校が合同で活動したり、地域クラブ指導員が指導したりするモデル事業を実施します。

Q2 地域クラブ活動となるのは休日だけですか？

将来的には、平日を含めて全ての部活動について地域移行を目指しますが、まずは、休日の部活動を地域クラブ活動に移行します。

Q3 モデル事業により、どのように変わるのですか？

令和7年度、一部の部活動で下の図のようなモデル事業を実施します。今後、事業の成果と課題を検証し、段階的に種目を広げていきます。

【モデル事業を実施する一部の種目の例】

	現状 平日・休日	令和7年度の真岡市のモデル事業	
		平日	休日
主体	学校	学校	地域クラブ (モデル事業期間は市)
指導者	部活動顧問 (教職員)	部活動指導員 部活動顧問 (教職員)	※地域クラブ指導員や外部指導者、地域のボランティアなど ※地域クラブ指導員には、平日指導している部活動指導員や希望する教職員も含まれます
活動場所	学校施設	学校施設	学校施設

指導者が変わります

Q4 学校部活動が地域クラブ活動になると、保護者の費用負担はどうなりますか？

スポーツ保険や指導者の謝金、用具代など、活動に必要な経費を参加者に負担していただくことが想定されます。適切な費用負担については、今後検討していきます。

Q5 文化部も地域に移行するのですか？

文化部（吹奏楽部、美術部など）も、徐々に地域クラブ活動に移行できるように進めていきます。



本通信で、進捗状況を随時お知らせします！

